

博士前期課程(修士) / 実践看護学領域 / 女性看護学分野科

目コード:260005

女性看護学演習Ⅱ Seminar in Women's Health Nursing Ⅱ

担当教員	米田 昌代、桶作梢、原真佑子				
実務経験					
開講年次	1年後期	単位数	2	授業形態	演習
必修・選択	選択	時間数	45		
該当ディプロマポリシー	(1)	◎	(2)	○	(3)
Keywords	女性看護学、well-beingの向上、看護介入モデル、先行研究、国内外の文献検討、クリティーク、文献整理、研究課題、明確化				
学習目的・目標	女性看護学の文献を通じて、女性のwell-beingの向上を目指した総合的な健康支援システムにおける看護の役割を探究する。各ライフステージの女性に着目し、疾患や障害へのケア、ヘルスプロモーションへの支援および家族へのケアに関する研究課題を学生が設定し、課題を明確にするための系統的な探究能力を養う。特に国内外の文献レビュー、論文のクリティークをゼミ形式で行い、理論的枠組みや研究方法を見出せる能力につなげる。次年度の特別研究と有機的に連動させる。				
授業計画・内容					
回	内容			授業方法	担当
1	オリエンテーション 女性看護学分野において、学生が関心あるテーマの文献検索を行い、2～15回においてその文献の要約の発表を行う形で進行していく。16～22回においては自らの研究テーマを確立していくための文献検討と研究計画の発表を行う。			講義・討議	米田・桶作
2～10	国内外の文献抄読により先行研究の目的、方法、結果の理解やクリティーク、看護介入モデルの検討 各自の関心あるテーマにおける文献研究の推移、特徴などを把握し、特別研究に連動させる。			プレゼンテーション・討議	米田・桶作・原
11～23	女性看護学研究の紹介と検討(母性小児看護学合同研究進捗報告会への参加含む) 各自が持つ課題に関する文献検討による情報収集と研究計画に関するプレゼンテーション、討議			プレゼンテーション・討議	米田・桶作・原
教科書	随時紹介する				
参考図書等	随時紹介する				
評価方法・基準	プレゼンテーション(70%)・討議(30%)				
関連科目	看護研究、データ分析方法論、女性看護学特論Ⅰ、女性看護学特論Ⅱ、女性看護学特論Ⅲ、女性看護学演習Ⅰ、特別研究(女性看護学分野)、特別研究(助産看護学分野)				
教員から学生へのメッセージ	国内外の先行研究を整理していくとともに、女性看護学における自己の研究課題を明確にしていきましょう。 3月3週目まで;研究計画書提出、4月上旬;中間報告会に向けての準備を含みます。				